

今を未来に

「かけ足タイム」「持久走」について

今年度は、裏面にあるようなねらいと取り組み日程で、業間を使った「かけ足タイム」ときょうだい学年を使って授業中に行う「持久走」に取り組みたいと計画をしています。

今年度になって保護者の方からご意見として、「なぜ以前のようにマラソン大会をしないのか。」「なぜもっとはっきりと順位を競わせる取り組みをしないのか。」と言ったご意見をいただきました。確かに、子どもたちに「競争」ということを通して力をつける、あるいはその子が持つ力を引き出すことは有効な手段の一つと捉えています。そのため、校内でも以前のようなマラソン大会形式に戻せないかを話し合ってきました。

たくさん議論をした中で、もう一度取り組みのねらいはどこにあるのか、そのねらいに合った練習方法や記録の取り方はないのかを話し合いました。小学校の体育の学習指導要領では今回ねらいに書いた「一定の速さで一定の時間走ることを身に付ける」ことがねらいとなっていて（その一定の時間が目安として低学年3分、中学年4分、高学年6分となっています）、縄跳びや長縄とねらいが同じところにあることを確かめました。そして、そのねらいに迫るためには、練習の中で一定の速さで走ることを身に付ける「ペース走」という方法が望ましい練習方法と記録の取り方であると考えました。

走る距離はおそらくどの子も昨年より短くなると思います。しかし、ペース走を身に付けることで、走ることに興味や意欲を持ち、将来も自己記録に挑戦する姿につながってほしいと願い、今年度の取り組みとなったことをご理解ください。